

異文化理解サロン「Brasil・ブラジルに対するステレオタイプ」

「違いで驚き、びっくりする」社会より「違いを受け入れる・活かす」と言う社会への転換を目指し、世界の様々な国の文化、習慣、現状、課題等について話を聞き、異文化に対する偏見をなくし、身近に触れ合う機会を府民に提供します。

外国人住民を講師として招き、自国の文化、社会、習慣、話題等についての講演及び交流・質疑応答・意見交換を通して異文化への理解を高め、地域の多文化共生に関心を持ってもらい、推進します。

日時： 2015年5月24日（日） 14:00～15:30

講師：

ホドリゴ・プリンカ・デ・ジェズス・リメイラ
ブラジル・サンパウロ州出身、滋賀県国際交流員

内容：

ブラジルの全体紹介の後、様々な文化や習慣を紹介しました。一番知られている点を説明してから、日本人の持っているイメージと違う側面やあまり知られていないところについて語りました。例えば、元気なサンバより「ボサ・ノヴァ」という静かな音楽は人気があるようです。また、現代のブラジル社会における課題（貧困、ファヴェラ、犯罪など）についても解説しました。

その後、ディスカッションを行い、参加者が自由に講師に質問できました。学校教育、ポルトガル語、在日ブラジル人などについて話合いました。

本講座を日本語で行いました。

会場： 京都府国際センター（京都駅ビル 9F）

参加者： 23名

主催： （公財）京都府国際センター



アンケート結果：

- * 自分のイメージ以外のブラジルを知って新鮮でした。
- * ホドさんに直接質問することができ、異文化に接することができて良かったです。
- * なかなか日本で知りえないお話が聞けて良かったです。

講座の様子：

